



## AG5遠隔合同授業の「知恵の蔵」

学びの航海図  
ふたりで話して、全体へ！  
子どもの多様な参加を拓く  
「聴く」ではじめる対話的な授業  
帽子をかぶって さあ話そう！  
みんなでファシリテーター  
バーチャル空間にリアリティを演出

みんな振り回りマスター  
「？」は学ぶ原動力！  
パッとみてハッとわかる  
話し合いで深めたい「問い」を自分で選択！  
○×サインで意思表示  
一人ひとりがアーティスト  
「遊び」を通した関係づくり

クラウドでフォローアップ  
なんでもかんでも画面共有 NG  
一つの扉からどこへでも  
遠隔合同授業での「声のものさし」  
非同期型の協働学習で足跡を残す  
授業の相互参照から自分の授業づくりへ  
オンラインで手書き～みんなで見て学び合う～

小さな積み重ねを一步步  
拡大&ハイライトで共同注視  
今オンライン今オフライン  
〇〇モデルで合意形成  
力をかしたり、かりたり  
共同編集でノートと意見の見える化  
子どもの振り返りで授業改善 / 授業計画

### 遠隔合同授業の「知恵の蔵」とは？

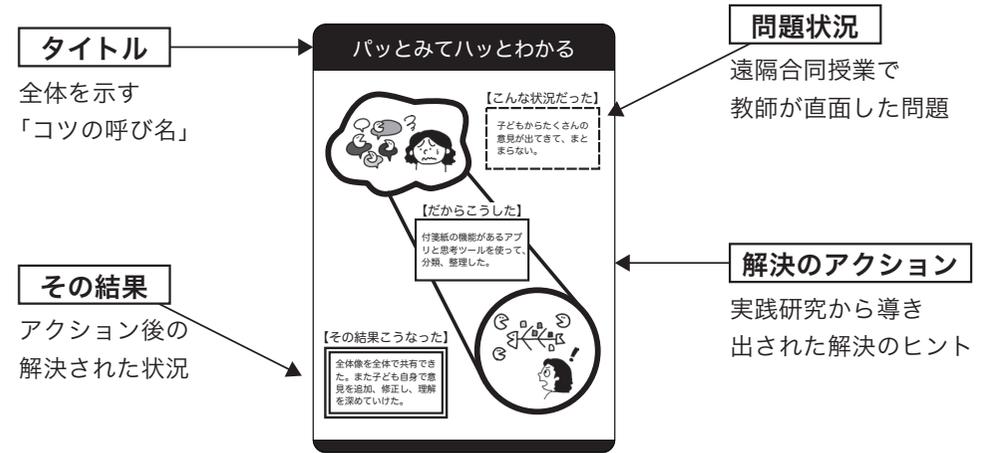
AG5では、2019～2021年の3年間、中南米の日本人学校4校（サンパウロ日本人学校、リオデジャネイロ日本人学校、サンホセ日本人学校、アグアスカリエンテス日本人学校）と共に、遠隔合同授業の実践研究に取り組んできました。

遠隔合同授業において教師が直面した様々な課題を明らかにし、その一つひとつの対応策を考え、実践してきました。その中で、成功した事例のうち、繰り返し見られる「パターン」がいくつかでできました。それらを「問題状況 / 解決のアクション / その結果」の3観点から簡潔に言語化、イラスト化して、知見をパターンとしてまとめたのが、この AG5 遠隔合同授業の「知恵の蔵」です。

問題解決への対応策といっても、どの教室、どの授業にも当てはまる理論があるわけではありません。この「知恵の蔵」は、問題状況に対する多様なアイデアが示されています。本取扱説明書で使い方例を示していますが、主に、遠隔合同授業について会話を始めるきっかけとして活用いただければ幸いです。

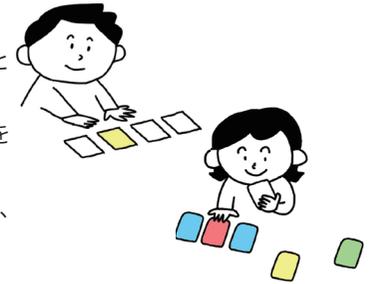
### カードセットに含まれるもの

- ・ 28 種類のパターンカード
- ・ 取扱説明書（本紙表）
- ・ 「知恵の蔵」一覧（本紙裏）



### ○ 自分の「できる」を可視化する（自己分析）

- ① 28 枚のカードを、実践したことがある / 実践したことがない / 実践してみたいの3観点で分類します。
- ② 実践してみたいカードの中から最も関心のあるものを一つ選びます。
- ③ 実際にやってみて、できたら「実践できる」に移動し、できることの数を増やしていきましょう！



### ○ 人に力を借りたり、貸したりして学び合う

- ① 一人ずつ、28 枚のカードを並べて、できる / やってみたい / 詳しく知りたいの観点で分けます。
- ② 「できる」カードを持っている人と「やってみたい / 詳しく知りたい」のマッチングをします。
- ③ ペアまたはグループになって会話をしましょう！

### ○ クイズ形式で多様な解決方法を出し合う

- ① 1人が1枚のカードを選び、問題状況と問題が解決された状況を示し「どんな介入をしたのか？」と質問します。
- ② どのようなアクションによって解決されたか、グループで多様な意見を出し合います。
- ③ 同じ問題状況でも多様な解決方法があることを確認し、そのアイデアを自分の授業設計に活かしましょう！

